

提 言 書

泊発電所3号機においてウラン燃料とMOX燃料を併用するプルサーマル計画の安全性に関して、ウラン燃料とMOX燃料の違いから生ずる課題に対し、北海道電力株式会社の講じる措置について、法的な事項、技術的な事項及び危険性への対応に関する事項など独自の評価項目を設定し、24の論点ごとに科学的かつ専門的な見地から慎重に検討を行った。その結果、プルサーマル計画については、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律(原子炉等規制法)」第26条に基づく国の安全審査を前提に、ウラン燃料のみを利用する場合と同様、安全性が確保されるとの結論に至った。

原子力発電の厳格な安全性の確保とともに、道民の信頼感・安心感を高めていく観点から、プルサーマル計画を進めるに当たって、北海道電力株式会社に求めるべき事項、国に要望すべき事項並びに道及び地元4町村が留意すべき事項について付帯意見を取りまとめたので、最終報告書「泊発電所3号機のウラン・プルトニウム混合酸化物燃料の使用計画(プルサーマル計画)に係る安全性について(最終報告)」と併せて提言する。

平成20年12月14日

プルサーマル計画に関する有識者検討会議

会 長 成 田 正 邦